おぉ…生まれたままのキサキの裸…美しすぎる…生きていてよかった…

ふふ♥

大袈裟すぎじゃ♥

妾の裸体など飽きるほど見ておろうに…♥

飽きるなんて…その言葉取り消して！

たとえキサキでも、私のキサキをバカにする発言は許さない…！

まぁ…
共感できぬわけでも
ないんじゃが…♥

其方には
何度何度犯されても
全く飽きぬからのう…♥

そのたくましいおちんぽに
突かれるたびに
何度となく処女を奪われる気分じゃ♥

そ…それは
どうも…？

うっ…
す…すみません…

じゃが
そうじゃな…♥

玄竜門の門主の玉体に
傷をつけたことを皆に知られたら
大逆罪人になるかもしれぬ…♥

ただ其方が妾の体を
癒してくれればよいだけじゃ♥

謝罪の意味で体の
奥まですみずみとな…♥

なに
謝ることではない♥

まずおまんこから漏れ出る古い精液を

其方の巨大な亀頭で掻き落としてくれぬか？♥

妾の子宮が健康になるよう

再び栄養たっぷり精液をたくさん注入しておくんじゃぞ♥

ドキ…ドキ…

「ハーハー…」

ま…待って…射精したばかりで敏感…おおっ…キサキの欲張りまんこめっちゃ締めてるう……っ

う…っ♥

欲張りとは…♥

そ…其方こそそれほど妾のおまんこをおもちゃのように扱っておったくせに

ガク

またこんなに勃起したではないか…♥

あうっ♥

お互い様お似合いのカップルというわけじゃ…♥

あっ…♥

ズプッ♥

ガク

ガク

ガク

何がお似合いのカップルだよ…
それはキサキが誘ったから仕方なく……

ぐしゅ

んっ♥

ぐしゅ

ふむっ♥

本当にそう思うのかえ？♥

妾なしじゃまともに性処理もできない其方が？♥

ぐしゅ

んっ♥

ぐしゅ

こうして少しおまんこを締めるだけで情けない声を出す其方が？♥

んうっ♥

おおおおっ!?

ずぽっ♥

ずぽっ♥

まって…キサキ…
もうむり…むりぃ…っ

よい反応を
見せてくれるのう♥

遠慮するでは
ない♥

気持ちよく射精できるよう
最後までおちんぽの
面倒を見てやる♥

ビクッ

ほれ♥
出すんじゃ♥

ビクッ

いつものように
妾の中に♥

ビュー
ビューッと♥

ビクッ

出せ♥
出せ♥
出すのじゃ♥

ズポッ♥

うおおおっ…っ絞られる…っ
金玉の精子…全部キサキに…
キサキの欲張り子宮に
全部出されるぅ……っ

ビクッ!!

ビクッ!!

んむぅ♡

と…とんでもなく♡

すごい量じゃのう…♡

ビクッ!!

ビクッ!!

いくぅぅぅぅ!!♡

ビクビク

さっきまで可愛い声であたふたしておったくせに

射精の勢いだけは大したものじゃの♥

これぞ妾の伴侶と言えよう♥

もう良い♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

存分に堪能したぞ♥

そろそろ体を洗うと…

フッフッ…キサキ…キサキ…ッ

……やれやれ♥

トゥビ

虚弱まんこですぐ精液ダラダラ垂らすくせに…っ!!

だらしないメスはこうしてやる…!!

あっ♥

あうっ♥

ひくっ

ひくっ

やさしくっ♥

やさしくしておくれっ♥

はうっ♥

これではおまんこ壊れてしまうのじゃ♥

あぁっ♥

まって♥

まつのじゃ♥

ひくっ

ひくっ

ズポ…!!

ズポ…!!♥

どうしていつもいつも
中出しばっかり
ねだってくるんだよ…!!

そんなに
孕みたいのか…!?

ち…
違う…♥

好…き…♥
好き…じゃから…♥

其方のことが
好き
じゃから…♥

好き…♥
大好き…♥
其方のことが
大好き…♥

妾でいっぱいいっぱい
気持ち良くなってほしくて…♥

ぶーん
ぶーん
ぶーん

ズッ
ズッ
ズッ

ま…またそうやって男が喜ぶ言葉を…!!

謝れ…!!そんな誘惑にいつも絞り取られる私のちんぽに謝れ…!!

ガクン

んぐっ♥

すっ すまぬ♥

軽率に中出しをねだったりはせぬ♥

許して♥

許しておくれっ♥

もう二度と♥

ひうっ♥

あふっ♥

じゃからやめっ♥

やめてくりゃれっ♥

ガクン

ガクン

くちゅっ

くちゅっ

くちゅっ

今更やめるなんて
そんなことできるわけないでしょう
もう無理…出す…
キサキの中に出すから…!!

ビクッ

んおっ♥

ビクッ

むりっ♥
こっちこそ
むりじゃ♥

いやじゃ♥
イくっ♥イって
しまうのじゃっ♥

おふっ♥

おおっ♥

もうお腹
パンパンじゃ♥
子宮が精液で
パンパンなのじゃ♥

ビクッ

ビクッ

イくイくイく
イくイくイーッ♥♥♥♥

ドピュ!!

ドピュ!!

ドピュ!!

うおおお…っ
でる…でるうううう…
今度こそ玉にある
精液全部でるうう……っ

ビッ
ビッ
ビッ
ビッ

おおおお

ビクン
ビクン
キサキだっていっぱい潮を吹いたんでしょう…お相子…お似合いのカップルというわけで…
い…一体どれほど出すつもりなんじゃ…♥
これでは本当に妊娠してしまうではないか…♥
まぁ…♥妾はいつでも用意しておるが…♥♥
はーっ♡
はぁ♡
はっ♡
……まったくこの男は…
トクン…
トクン…

き…キサキさん？
今何を…おふっ!?

んんっ♥

んふっ♥
こら♥
じっと
しておれ♥

ぶぽっ♥

ぶぽっ♥

んむっ♥

夫の始末は
妻の役目じゃろ？♥

んふうっ♥

ぶぽっ♥

ぶぽっ♥

まっ…これ絶対
射精させるつもりじゃん…
あっ…あ…っ

子宮がいっぱいになったからって喉まんこで精液をねだるなんて…

おぉ…ッでるぅ…ッまたでるぅ…ッ

ビクビク

ビクビク

オッオッ♥

ビュルル♥

ビュルル♥

ビュルル♥

あのキサキ様…？
もうお腹パンパンだと
言わなかった…？

んじゅっ♥

世間で言う
デザートは別腹
というわけじゃ…♥

ほれ♥
夫が妻を
飢えさせてはならん…♥

ちゅるっ♥

もっと先生の
うまい精液で
お腹パンパンに
してくりゃれ…♥

じゅるるるっ♥

じゅぽっ

じゅぽっ

じゅぽっ

じゅぽっ

……詰んだ…

とどめ♥

め出精こ
このあと
精液じゃないものが
出るまで
めちゃくちゃ絞られた



































